

平成21年度決算概要



1. 全会計について

平成21年度の益子町の全会計の歳入総額は11,810,162,151円、歳出総額は11,457,901,194円で、歳入歳出差引額は352,260,957円となっており、平成20年度決算額と比較しますと、歳入は602,791,615円(△4.9%)、歳出は97,653,226円(△0.8%)とそれぞれ減額し、差引額では505,138,389円(△58.9%)の減額となっております。

単位:円、%

会計名		平成21年度決算額	平成20年度決算額	増減額	増減率
一般会計	歳入	7,303,567,105	7,540,633,420	△237,066,315	△3.1
	歳出	7,029,030,955	6,866,520,823	162,510,132	2.4
	差引額	274,536,150	674,112,597	△399,576,447	△59.3
国民健康保険特別会計	歳入	2,627,080,893	2,655,530,862	△28,449,969	△1.1
	歳出	2,581,893,146	2,534,037,574	47,855,572	1.9
	差引額	45,187,747	121,493,288	△76,305,541	△62.8
老人保健特別会計	歳入	33,654,980	257,687,328	△224,032,348	△86.9
	歳出	27,785,223	230,368,091	△202,582,868	△87.9
	差引額	5,869,757	27,319,237	△21,449,480	△78.5
後期高齢者医療特別会計	歳入	142,950,981	138,823,255	4,127,726	3.0
	歳出	142,326,361	137,423,482	4,902,879	3.6
	差引額	624,620	1,399,773	△775,153	△55.4
介護保険特別会計	歳入	1,126,439,699	1,062,500,723	63,938,976	6.0
	歳出	1,108,102,849	1,040,956,084	67,146,765	6.5
	差引額	18,336,850	21,544,639	△3,207,789	△14.9
公共下水道事業特別会計	歳入	450,342,014	614,508,980	△164,166,966	△26.7
	歳出	447,379,392	608,386,807	△161,007,415	△26.5
	差引額	2,962,622	6,122,173	△3,159,551	△51.6
農業集落排水事業特別会計	歳入	126,126,479	143,269,198	△17,142,719	△12.0
	歳出	121,383,268	137,861,559	△16,478,291	△12.0
	差引額	4,743,211	5,407,639	△664,428	△12.3
合計	歳入	11,810,162,151	12,412,953,766	△602,791,615	△4.9
	歳出	11,457,901,194	11,555,554,420	△97,653,226	△0.8
	差引額	352,260,957	857,399,346	△505,138,389	△58.9

*平成21年度決算書が、役場・中央公民館・改善センター・あぐり館に備えてありますのでご参照ください。

2. 一般会計決算概要

平成21年度の一般会計の歳入総額は7,303,567千円、歳出総額7,029,031千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は274,536千円となりました。

形式収支から翌年度に繰り越すべき財源34,087千円を控除した実質収支は240,449千円の黒字となっており、このうち130,000千円を財政調整基金に

積み立てし、残額は平成22年度への繰越金としております。また、単年度収支については、前年度の実質収支額を下回ったことにより52,971千円の赤字となっており、実質単年度収支も、50,572千円の赤字となっております。

財政状態を示す財政指標のうち経常収支比率は86.1%と前年度から5.8ポイント悪化しました。これは、昨年度に比べ町税（法人町民税）の減少によるところが大きく影響しております。公債費比率については、11.3%で前年度から2.5ポイント好転しました。

平成21年度末の地方債の残高は、6,621,962千円で前年度末より329,928千円減少しました。しかしながら、この金額は歳入の0.91倍に相当し、依然高水準にあることに変わりはありません。これは地方交付税の代替措置である臨時財政対策債の発行によることが大きな要因です。

一方、財政調整基金残高は、前年度から202,399千円増加し956,194千円となりました。これは財政計画に基いた歳出削減により、剰余金の積立額の増加、基金の取崩しがなかったことによりです。しかしながら、財政の健全化の維持のためにもさらなる積立を図っていく必要があります。

歳入のうち自主財源は3,605,224千円、自主財源比率は49.4%となっており、前年度と比較しますと額で50,451千円の増、率では2.3ポイントの増となっております。また、依存財源は3,698,343千円で50.6%、前年度対比で287,517千円の減、率では2.3ポイントの減となっており、これは、繰越金の増加（前年度比345,600千円増）と地方交付税の減少（前年度比321,587千円減）によるものです。

歳出のうち消費的経費は6,395,673千円で、前年度対比379,175千円（3.4%）の増となりました。内訳としては、人件費、公債費及び繰出金等が減少し、補助費等、扶助費及び物件費等が増となっております。投資的経費は633,358千円で、前年度対比216,665千円（3.4%）の減となっており、これは、昨年度の町土地開発基金からの買戻しにかかる経費の減によるものです。



平成21年度の主な事業

● 障害者扶助	310,362 千円
● 老人扶助	33,820 千円
● 民間保育所入所運営	419,730 千円
● 児童手当	181,650 千円
● こども医療費助成事業	45,976 千円
● 芳賀中部上水道団企業団補助金	39,996 千円
● 芳賀台地土地改良事業負担金	59,428 千円
● 道路改良・舗装・修繕工事	110,268 千円
● 北公園整備	118,900 千円
● 幼稚園育成事業	26,597 千円



平成21年度一般会計歳入歳出決算

(単位:千円、%)

歳 入			歳 出		
区 分	金 額	構成比	区 分	金 額	構成比
○ 自主財源	3,605,224	49.4	○ 消費的経費	6,395,673	91.0
町 税	2,544,136	34.8	人 件 費	1,269,114	18.1
分担金及び負担金	127,256	1.8	物 件 費	582,495	8.3
使用料及び手数料	53,959	0.7	維持補修費	17,777	0.2
財 産 収 入	7,320	0.1	扶 助 費	1,051,967	15.0
寄 附 金	217,565	3.0	補 助 費 等	1,693,812	24.1
繰 入 金	92,198	1.3	公 債 費	864,616	12.3
繰 越 金	474,112	6.5	積 立 金	258,835	3.7
諸 収 入	88,678	1.2	投資・出資金及び貸付金	51,363	0.7
○ 依存財源	3,698,343	50.6	繰 出 金	605,694	8.6
地 方 譲 与 税	106,771	1.5	○ 投資的経費	633,358	9.0
利子割交付金	9,061	0.1	普通建設事業費	628,819	8.9
配当割交付金	2,776	0.0	災害復旧事業費	4,539	0.1
株式等譲渡所得割交付金	1,637	0.0	失業対策事業費	0	0.0
地方消費税交付金	208,377	2.9			
ゴルフ場利用税交付金	82,959	1.1			
自動車取得税交付金	36,581	0.5			
地方特例交付金	35,388	0.5			
地 方 交 付 税	1,514,698	20.8			
交通安全対策特別交付金	2,674	0.0			
国 庫 支 出 金	776,495	10.6			
県 支 出 金	494,968	6.8			
町 債	425,958	5.8			
歳入合計	7,303,567	100.0	歳出合計	7,029,031	100.0



3. 国民健康保険特別会計決算概要

平成21年度の国民健康保険特別会計の歳入総額は2,627,080千円、歳出総額は2,581,893千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は45,187千円となりました。このうち23,000千円を財政調整基金に積立し、残額は平成22年度への繰越金としております。前年度と比較しますと歳入は28,450千円（1.1%）の減額、歳出は47,856千円（1.9%）の増額となっております。これは、歳入で、国庫支出金が29,266千円、共同事業交付金が30,925千円減少し、歳出において、後期高齢者支援金が34,672千円、諸支出金が34,887千円増加したことによるものです。

なお、保険税の収納率は65.3%で前年度から2.0ポイント減少しました。



4. 老人保健特別会計決算概要

平成21年度の老人保健特別会計の歳入総額は33,654千円、歳出総額は27,785千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は5,869千円となりました。前年度と比較しますと歳入は224,032千円（86.9%）、歳出は202,582千円（87.9%）とそれぞれ大きく減少しております。



5. 後期高齢者医療特別会計決算概要

平成21年度の後期高齢者医療特別会計の歳入総額は142,950千円、歳出総額は142,326千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は624千円となりました。歳入の主なものは、後期高齢者医療保険税98,437千円で歳入の68.9%、一般会計からの繰入金42,578千円で歳入の29.8%を占めています。歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金137,992千円で歳出の97.0%を占めています。

なお、保険料の収納率は99.9%となっています。

6. 介護保険特別会計

平成21年度の介護保険特別会計の歳入総額は1,126,439千円、歳出総額は1,108,103千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は18,336千円となりました。前年度と比較しますと歳入は63,939千円（6.0%）、歳出は67,147千円（6.5%）とそれぞれ増額となっております。これは、歳入で保険料が33,881千円、国庫支出金が14,340千円増加し、歳出で保険給付費が49,834千円増加したことによるものです。

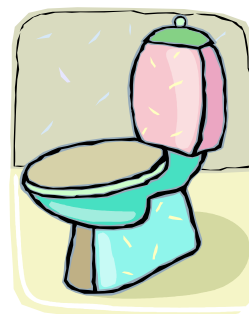
なお、保険料の収納率は99.0%で前年度から0.3ポイント減少しました。



7. 公共下水道事業特別会計

平成21年度の公共下水道事業特別会計の歳入総額は450,342千円、歳出総額は447,380千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は2,962千円となりました。前年度と比較しますと歳入は164,166千円（26.7%）、歳出は161,007千円（26.5%）とそれぞれ減額となっております。これは、公債費が減少（169,545千円）したことによります。

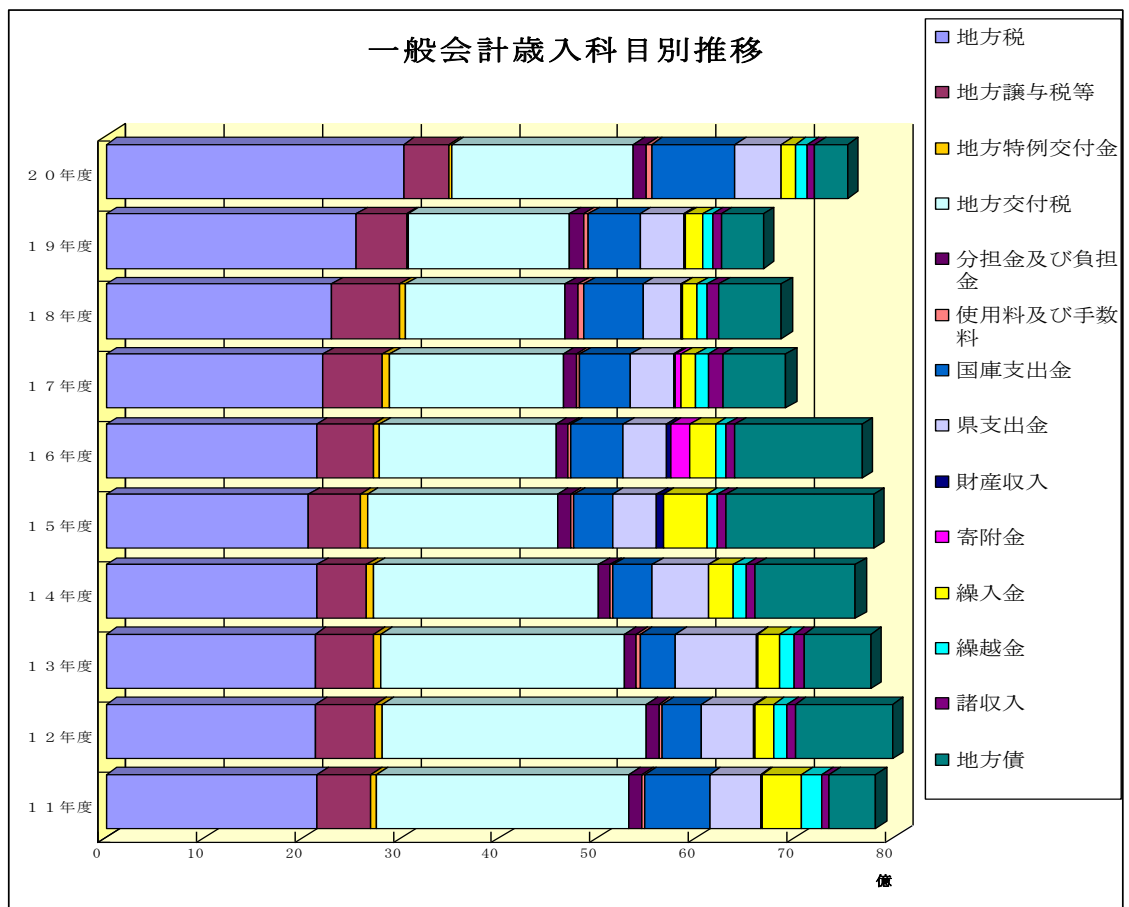
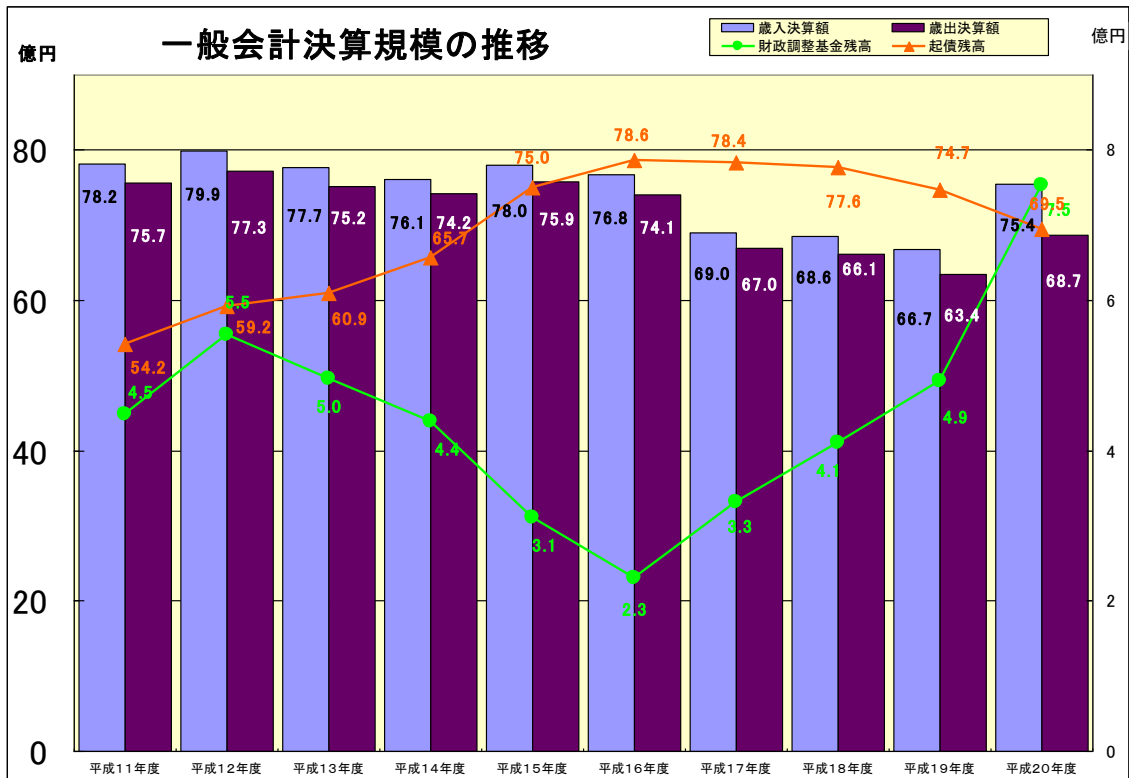
なお、水洗化率は74.8%でした。



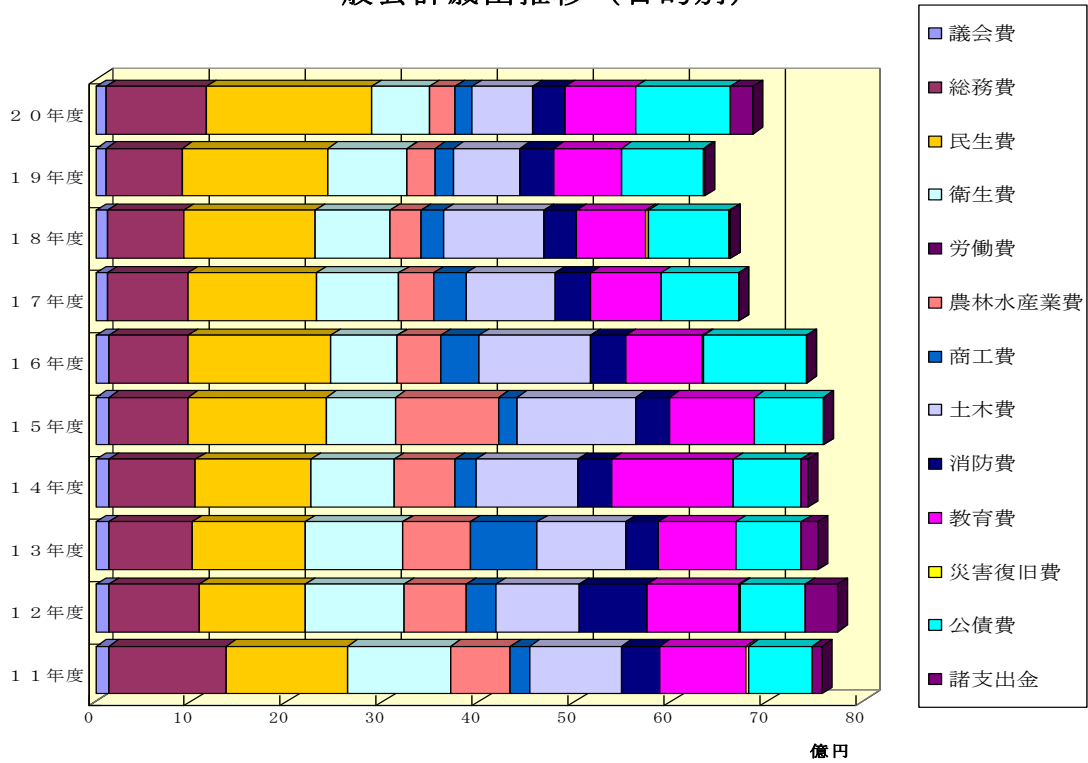
8. 農業集落排水事業特別会計

平成21年度の農業集落排水事業特別会計の歳入総額は126,126千円、歳出総額は121,383千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は4,743千円となりました。前年度と比較しますと歳入は17,142千円（12.0%）、歳出は16,478千円（12.0%）とそれぞれ減額となっております。これは、公債費が減少（20,731千円）したことによります。





一般会計歳出推移（目的別）



一般会計歳出推移（性質別）

